「3.11いわて教会ネットワーク」ニュース

No.30 2020年3月11日

3.11いわて教会ネットワーク https://311.ichurch.jp ゆうちょ銀行 18350-418531

第9回3.11集会の中止について

3月8日に予定されていた「第9回3.11集会」は新型肺炎(COVID-19)を引き起こす新型コロナウイルスの感染拡大の危険性が大きくなってきたことを受け、2月20日のコアミーティングで中止の決定とさせていただきました。代わりに久しぶりにニュースレターを発行し、今年度をもって退任される高田さをり師のあかしと各地の様子をお届けすることにしました。引き続き祈りに覚えましょう。

ありがとうございました

ネットワークスタッフ・高田さをり師(日本同盟基督教団)

5年間、ありがとうございました。とうとう東北を去る日がやって来ました。この期間、たくさんの神さまのみわざを見せていただきましたが、三つだけお伝えできればと思います。

初年度は釜石に住み、大槌・小槌・山田町と、主に仮設住宅訪問をして過ごしました。秋も深まるころ、ボランティアグループと大槌町を訪問した時のこと。ある求道中の方が、怪我をなさいました。寒い中、子どもたちと過ごす中での事故でした。石でざっくり割れた手の平、聞けば大工さんとのこと。慌ててセロテープで止血、時刻は17時。ギリギリ閉院直前、治療に間に合いました。なんと、翌年その方が受洗したとの知らせが。その時の滞在や怪我の中に、神さまは語られたようです。人の救いは全く神のなさることなのだと感心しきりでした。

その後、2年間は一関市に住み、気仙沼へ。様々なクリスチャン主催の行事で、信仰に興味を持ち始めた方がありました。そのおじさんは、40歳で極道を辞めて漁師になったそうです。311では津波に飲まれ、浮いた板の上で泣いていた子猫と共に助かりました。仮設でもその猫ちゃんと一緒。しかし、その猫を救う手でもっと誰かを救えたのでは、と苦しみも深かったようです。猫つながりで話すようになりました。神さまについては、もう信じておられました。その内、がんが悪化して入退院を繰り返すように。気仙沼の嶺岸師ご夫妻がその方の暮らしを助けておられました。お見舞いのある日、病院の廊下で天国の話になりました。どうも罪の赦しについては聞いたことがない、と言います。それからイエス様と十字架、赦しの話に。「ああ、私には罪があります。信じます」そうおっしゃいました。諸教会の祈りの深さに感動を覚える時でもありました。天に帰られた際には、気仙沼聖書第一バプテスト教会で記念会が持たれました。

東北にいる間、休みを使って訪問したのは、台湾が多かったです。戦後を通り、大きな震災を潜り抜け、 日本のためにもささげてくださる国。戦争と災害からの復興、そんなことをテーマに、様々一人で巡りました。台湾が活気ある観光の国へと成長を遂げた背景に、当時の台湾総統・李登輝氏の姿がありました。あらゆる面から国を成長に導いたことが見られました。彼は長老教会に属するクリスチャンです。キリスト者は社会に影響できる。国を建てることができる。そういう確信を得る旅でした。

教会は天国への鍵です。鍵は重要なものですが、大きくはありません。でも、小さいものだから意味がないとはなりません。この時期に皆さまと聖書を開き、み言葉を味わい賛美できました恵みを、心から感謝します。場所は離れてしまいますが、これからもご一緒にお祈りできます恵みも、また感謝いたします。本当に、ありがとうございました。

各地の様子と祈りの課題



三陸のぞみキリスト教会(JECA:岩手開拓伝道)

報告:李世楽

開拓従事者不在の中、SEND宣教師の李世楽・ドリス師夫妻・劉ウインサム師(一時帰国中)・ラリー・チョイ師・ステラ・ウォン師夫妻が中心となり、山田町中央コミュニティセンターの一室で礼拝をささげています。礼拝には地域の未信者5~

6名を含め、平均して15名が集っています。またJECAの諸教会から多くの先生方が駆けつけ、説教奉仕にあたっています。

週日には、英会話教室・ビーズ教室・お茶会(山田・釜石)等の集会が月1回行われており、2019年3月に閉鎖された「いっぽいっぽ岩手」の交流プラザに来ていた方々の約6割と継続したつながりが与えられています。2019年の夏祭りには、地元から39名の参加がありました。

李師・劉師は詩吟や民謡、お花の教室などに参加して、現地の方々と積極的に交流を深めると共に、精力的に訪問を行っています。

祈祷課題:

①日本人の開拓従事者が与えられるように ②地域の方々の救いのため ③各宣教師の守りと支えのため



日本同盟基督教団・グレイスハウス教会

報告:齋藤満

支援活動を契機に、これまで教会が少なかった 岩手県沿岸に教会開拓をと祈りが積まれ、グレイ スハウス教会は始まりました。2016年から、大船 渡を拠点に年間150名を超えるボランティアや宣教 チームを受け入れ、仮設、災害公営住宅などで活

動をしてきました。そして2019年、日本同盟基督教団の教会として正式に認可され、礼拝が捧げられています。現在も大船渡市内6箇所の災害公営住宅で定期的に高齢者向けの体操とお茶会を開催しています。また教会ではビーズ教室、ママカフェ、子ども英会話が開かれ人々が集っています。現在被災地は、中長期的支援と宣教の段階に入っています。初期の支援活動は結果が見えやすく、人もお金も集まり易い傾向にあります。しかし、結果の見えにくい中長期的な支援と宣教の働きこそ、本当に必要とされている活動であり、教会にしかできない活動ではないかと思います。今後ともお祈りとご支援をよろしくお願いします。



宮古コミュニティチャーチ

報告:岩塚和男

現在、宮古での活動は、主に3つの形態でなされています。

第一に、これまでのような外部からのボラン

ティアによる活動で、EPJMや玉川聖学院などが継続して支援に来られており、地域でも好評で、何回も来て下さるメンバーは顔なじみになっています。

第二に、私(岩塚)が単独でする活動。地域のイベント(新年会、クリスマス会など)や個人宅での小規模の集まりに招待されるようになっています。

第三に、"○○(まるまる)プロジェクト"と呼ばれる社会福祉協議会と民間のボランティアとのタイアップで、コミュニティ再生の問題を抱える地域への働きかけを行っています。私(岩塚)もその構成メンバーとして他団体と協力して話し合いと問題解決に取り組まさせていただいています。

祈りの課題:

- ① 今後の活動の継続のために人的・経済的必要と知恵と導きが与えられるように
- ② 教会が地域のコミュニティ再生にさらに深く関わり続けられるように
- ③ 教会と地域との壁が打ち破られるように



北三陸キリスト教会

報告:ダーン・バークナー

北三陸キリスト教会(岩泉町岩泉字村木76;福音派、単立)は岩泉町、田野畑・譜代・野田村でRJTA 宣教団体のバークナーが開拓した教会です。地域教会としてクリスチャンボランティア災害支援活動の窓口の責任を持ち、ボランティアセンターを同時に

開きました。2011年に準備を始め、2012年2月に始まりました。津波、2016年の台風10号、台風19号の 災害支援活動を500人のボランティアと一緒に行ってきました。

アップデート:

*礼拝:岩泉町、野田村

*最近、台風10号・19号から回復しました。様々な災害から回復した数か所の近所でサロン(聖書一口・ 讃美歌・クラフト)を定期的に、また数か所で時々開いています。

*デーサービス、幼稚園、学童での活動もあります。

これから・祈りの課題:

町村を仕えながら福音を広める教会として続け、礼拝、ボランティアセンター、近所サロンを続け、高齢者 交わりセンターを開き、マンツーマン聖書学びを増える。

祈り課題①回復した時代 ②ペースダウン ③長期・中期・短期宣教師の募集(申し込み:Dawndbl@hotmail.comへ) ④経済な必要と健康 ⑤信者と求道者が増える。



ヤハバイブル ネットワーク

報告:シェー・ホイヤン

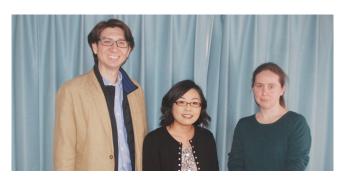
ヤハバイブルネットワークは2019年に矢巾町で始められた開拓伝道です。OMFの宣教師ウォングアンドリュー・ジョアナご夫妻とシェーホイヤンが中心となって働きが進められています。医科大学の移転と病院の開設による矢巾町の発展と伴い更

なる伝道の機会が与えられる事を祈っています。聖書と宣教を中心とした集会・グループのネットワークを

築いてゆくことにより矢巾町の住民、また医科大学生に伝道することがビジョンです。現在主に関係作りを 通して、また音楽、お料理、語学など与えられている賜物を用いて伝道活動をしています。

お祈り課題:

- ①神様を求める人々との出会い、また聖書を人々と学ぶ機会が与えらるように。
- ②家庭集会に来ているクリスチャンの方々の弟子訓練の為に。
- ③勇気と確信をもって福音を伝え続ける事が出来るように。



宮古めぐみキリスト教会

報告:キャサリン・ポーター

宮古めぐみキリスト教会の主日礼拝が毎週に なってから15ヶ月が経ちました。ロビソン宅で 集まって、アットホームな家庭礼拝という形をとっ ています。夏に流しそうめん、秋に香港ナイト、 クリスマスに特別礼拝をすることで未信者が集う

機会を設けています。「めぐみの会」という名前で復興住宅3箇所、地域の集会所2箇所でお茶会を通して コミュニティ支援を続けています。個人訪問、またはいろんな形を通して友達伝道をする時間を大切にして います。宣教師3人のチームですが、ロビソンデーヴィッド、遠望夫妻、ポーターキャサリンです。信徒の 方も大活躍です。祈祷課題ですが、これから救われる人が起こされるように、また7月にキャサリンが帰国 するので、必要な働き手が与えられますように。

2019年度会計報告 (2019.3.11-2020.3.10)

献金者(敬称略あいうえお順・2019年3月12日~2020年2月20日まで) EPJM(シンガポール)、活けるキリストー麦教会、浦和福音自由教 会、永福南キリスト教会(JECA)、大間々教会(福音伝道教団)、 大館ルーテル同胞教会、小山バプテスト教会(保守バプ)、オールセ インツプレスビテリアンチャーチ (シンガポール)、川瀬美千代、北 上聖書バプテスト教会、清瀬福音自由教会、倉敷聖約キリスト教会、 クリスティン(シンガポール)、黒石福音キリスト教会(JECA)、斎藤 雅代、堺市朝の祈祷会、新宿西教会(日本基督教団)、湘南グレース チャペル、玉川聖学院、津田沼教会(保守バプ)、月ヶ丘教会(コン サートチケット売り上げ)、畑章夫、濱崎政義、バンクーバー日系人 福音教会、ぶどうの樹聖書教会、古舘光恵、ハンブルグ日本語教会、 松野牧人、ム・イエリン(玉聖OG)、めぐみキリスト教会、盛岡聖 書バプテスト教会、横浜永谷キリスト教会、淀橋教会報告会席上献 金、栗東キリスト教会、ワイ・リン(シンガポール)、2019年311 集会席上献金

- * 前期繰越には未精算だった過去の立替分(415,000円)を含む
- * 「指定献金」はシャロームハウス(宮古)と教会指定(シャロームハウス指 定分は住宅費に当て、教会指定分は指定先に送金)
- * 「支援」はグレイスハウス教会に対する援助
- * 雑損は未精算だった過去の立替分を雑損として処理したもの
- * 2020年度への繰越金は5,645,924円になります。

【2019年度収入】	
献金	2,185,731
指定献金	382,890
雑収入	508,904
前期繰越	9,166,498
収入合計	12,244,023
【2019年度支出】	
支援活動費	328,389
広報活動費	12,960
交通費	223,590
車両費	1,066,022
会議費	39,233
事務通信費	5,657
住宅費	2,038,488
人件費	1,850,000
福利厚生費	328,760
指定献金払出	20,000
支援	290,000
雑損	415,000
次年度繰越	5,645,924
支出合計	12,264,023